



発行所 香川自治会広報委員会
印刷所 (有)スエカネ印刷

阪神大震災に

学ぶ

自治会長 古谷金政
「今日は人の身の上、明日は我が身の上」という言葉があります。その上神奈川県は、県西部地震、南関東地震などの地震発生が予想されています。

どの地震が起きてても茅ヶ崎市は強い影響を受けるといわれています。被害を最小限に抑えるには地震に備えて日頃から何を備えておけばよいか、県の「自主防災ハンドブック」や、市の「わが家の地震対策」などで心構えを細かく点検しておくことが大切です。是非お読みいただき家庭で話し合ってくださいと思います。

阪神大震災

救援金の報告

去る二月四日、会員の皆さまに阪神大震災救援金についてのお願いをいたしました。皆さまから積極的な協力をいただきました。皆さまからの救援金の合計は、百九十六万六千九百八十九円でした。二月二十七日に、自治会

長と一緒に、市の福祉総務課へ持参いたしました。

会員の皆さまをはじめ、集金にたずさわった組長の皆さま、地区会計の皆さま、ありがとうございました。皆様のご協力に心から感謝いたします。(会計委員長 渥美隆次)

防災意識を

高めましょう

香川消防団長 本庄 繁
例年通り今年も二月十九日、九時から十二時まで自治会館前で、消火器の詰め替えと販売を行いました。今年も阪神大震災の後という事もあり、その数は例年の三倍強という数字になり、改めて防災についての関心の深さを思わされました。

「天災は忘れたころにやってくる」の言葉どおりの惨劇となった阪神大震災、被災した多くの方が「まさか、こんな事になるとは」といった思いを、強く感じたのではないのでしょうか。自分のところには「絶対に震災などはない」という事は絶対にあり得ない事であり、危機は安全と平和の裏に必ず潜んでいるもののようなものである。営々と築き上げてきたすべてが、一瞬にして水泡に帰してしまいか、二度と立ち上るのが困難なまでダメージを与えるのが震災だとすれば、その時にあってあわてて対策を講じたとしてもすでに手遅れになっている場合

が多いでしょう。

「防災」、まずはふだんの心がまえ「防災意識」を持つ事が大事なのではないでしょうか。たとえばちよっとした、火が大きくなる前に消火器を使って消し止めるなどは簡単にできそうですが、あまり気が動転して何もできずにいるという場合があるという事な事です。ふだん防災に関心をお持ちの方はこの様な事はないと思います。

まずは最小限抑えるという努力をする事が適正でしょう。その為には各家庭には最低一本以上は消火器が必要です。そしてその使い方も以前とは違い簡単に操作できません。「習うよりなれる」ではないでしょうか。

ご自分の家の消火器をお隣の火災に使用した場合は、市の方で無料で詰替えをして下さいますので、私も消防団に連絡下さい。又、到る所に街頭消火器が設置されています。現在、香川地区だけで八十二本置かれています。

まず、自主防災を

防災方法について茅ヶ崎消防本部に聞いて来ました。

まず第一は、自分の身の安全を守る事、次に、火の始末をする(ガス・ストーブ・電気)そして防災頭巾(又は座布団)などを頭にかぶせ外に出る。地震火災、家屋倒壊などの身の危険がせまった場合は、広域避難場所(香川地区はスリーハンドレッド)に避難する。次に日頃からの備えとして飲料水と食料品は、人数分を五日分位、用意して非常用バックに入れておく。防災頭巾、スリッパ、小銭(公衆電話用)、生活用水(洗面トイレ用)の確保も必要です。そして二次災害(火災)を防ぐ為の消火器の用意と、取り扱ひ方の

これにも関心をもって頂き、ご自分の周りにどこに設置されているか、いざという時は、すばやく対応できるように防災意識を高めていこうではありませんか。

被災者からのお便り

西宮市にお住まいで、大地震にあわれた方から、伊東信子さんの許に届いたお便りを紹介します。「この度の大地震災害では、早々に私どもの安否をおたずね下さりお便りうれしく思いました。ご心配頂き心から感謝申し上げます。一瞬のことで何も記憶がないのです。寝ておりました。部屋の洋タンス、整理タンス、その上に置いてありました品々が全部落ち、倒れて下敷になっていてもおかしくない状態でしたのに、幸にけがもなく不思議なほどです。神様に守っていただき救われたのだと思えました。別部屋の家具類も、みごとに倒れ、中の物が散乱。食器類、特にガラス物は割れ飛び散っており、仰天しました。家屋自体の被害は免れましたが、水道もガスも止まったまま、それに同じ敷地内の家三軒が、地盤に亀裂や陥没した所があり、余震のたびに家が傾きはじまりました。いつ破壊するか恐怖。崩れると出入口がふさがります。その家の方全員、当日から避難されました。交通の復旧もおくれ、生活するには不自由なことが多く、一時大阪に移りました。

現在は平常な生活を営むことができ、精神的にも肉体的にも回復致し、元を取り戻しております。

ので、ご安心下さい。今、私は物事に前向きな姿勢です。終生二度と体験したくないこの体験を、むだにしたいくないと思っております。皆様のあたたかい励ましや、限りなくご厚意に甘えました。お世話になりました。私どもは本当に幸せでございます。感謝の一念です。そして私には他の方にも少しでもお役にたてばと思ひ、お風呂や洗濯に困っている友人に、交替に来ていただき、くつろぎ、心も体もリフレッシュできたかと誘ひ、あたたかい食事を前にしてさしあげると、お互に無言のまま涙がこぼれ落ちてしまいます。まだまだ深い傷あとを癒すことはできません。これから生活するために住宅問題は深刻です。死者の方はいらっしゃいませんでしたが、家屋がやられ建て直すことになることでしょうか。お気の毒で心が痛みます。一日でも早く明るい平和な生活ができようように祈るばかりでございます。乱筆乱文にて失礼致します。ありがとうございました。」

阪神大震災で避難して
来られた方を調べています
標記地震災害により、香川地区の親戚や貸家等へ避難された方について、香川自治会で状況把握をしたいと思いますので該当者がおられましたら次の事についてお知らせ下さい。(自治会長 古谷金政) 報告内容

1. 被災者の住所、氏名 年齢、続柄
2. 現在避難されている住所 連絡先

自治会長・町内会長・民生委員
※ 二月末現在把握している被災者の方は市営住宅に一世帯の方が入居しています。

我が家の大地震対策

要保存

- 1) 日ごろの準備と心がけ
①家族で役割を分担
②家具類の固定、落下物の整理
③食料の備蓄、非常持出品の準備
④我が家の耐震診断
⑤火器類の安全対策
⑥飲料水、生活用水の常備
- 2) 家の整理
- 3) 水と消火の準備
- 4) 非常持出品の確認
- 5) グラッときたら火の始末!
- 6) あわてて外にとび出さな!
- 7) わが家の安全、隣の安全互に声かけ、助け合おう
- 8) 正しい情報に耳をかせ、デマに注意

第一町内会

四月から新組長さんに 皆さんもご協力ください

会長 寺田達也

二月十二日、組長さんのお仕事についての説明会を開催しました。ゴミ問題に関連して次のように新組長さんをお願いしました。

- (一) 中の見える袋に入っているか
 - (二) びんはガラスびんか
 - (三) びんの栓は取ってあるか
 - (四) びん・かんの中は空か
 - (五) アルミかんは子供会に出して頂ければ有難い
- ※個人の問題として自ら実行して

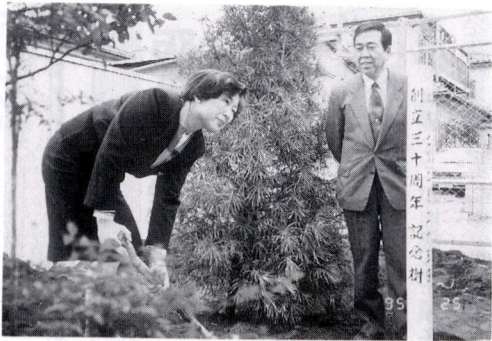
頂きたい。
ニびん・かん回収後の置場の点検
(一) 置場に何も残っていないければ合格
(二) 残っていた時には、
(ア) 出した人に引き取って貰うように連絡する
(イ) そのまま次回まで置く
(ウ) 別の場所に保管する
※点検結果について、ご家庭内で報告すれば、家族の関心は高まるでしょう。

三、ぼろ布

余すところなく再利用されます。ボタンなどは付いたままでよい。毎月第一土曜日子供会の集積場へ。指定の時刻に出して頂ければ有難い。
三年続ければ組内に三人の仲間ができ、そのうちには同調者も増えて、ゴミ置場については、良い

香川小学校 開校30年

畑島武夫



植樹祭、コウヤマキと有泉校長

私が香川に住んでから、33年になります。当時は松林小学校香川分校で、金子薬局の北側の小高い所(現駐車場)にあり、低学年児童が通学しておりました。その後当時として香川にない立派な校舎

一棟建ち(前面の校舎は後日建築)校庭の整地で土運び、松等その他樹木植えて土曜日の午後と日曜日と連続で、地元の方、校長先生始め先生方、総出で現校長の有泉先生の姿も見えました。小型トラック・シャベル・カマ、個人個人道具持参で分校から石門柱を裏門へリヤカーで、校庭の周りの木は松風台第一公園裏の山から運んだり、分校からの猿スベリが中庭に。私が分校時代木登りをしました。童子に返った会話で、はずんだこともありました。今迄の作業は良い事ばかりではなく、途中から雪降りに見舞われたこともありまして。香川小学校の30年の歳月に体育館が出来、まことに待ったブーも建設され、かつては生徒数も少なく現在の様なマンモス校はおもいもよらない。香川小学校の永遠と、勉学に励まれる学童を祝して筆をおきます。

あつという間の一年

環境整備委員 岡沢茂昭

心やさしい女性メンバーと、頼りになる男性メンバーに恵まれ、「チームワークの良さ」をモットーに坂田委員長の指揮のもと、駅前清掃・ポスター展・花植えとあつという間の一年でした。
花の名前も分らず、植え方もメンバーに教えてもらいながら、「香川駅は香川の顔だ」と言うことを胸に、子供会の可愛い子供供達といっしょに楽しいひとときを過ごしました。「おじさん、この草抜いていいの」「うん、いいんじゃない」と、メンバーが大事に育てていた花を抜いてしまった失敗もありました。

子供会との合同反省会(二月)の時に、メンバーに叱られ、少し「植物図鑑」で勉強しなければと思いました。
でも子供会との駅前清掃は楽しいひとときです。ワイワイガヤガヤと子供達の声を聞きながら、時間の過ぎるのも忘れてしまい、「いけない、パンとジュースを配らなければ」と慌てることもありましたが、でもその時の子供達のにこにこした顔を見ていると、引き受けて良かったと思えました。
あと一年、楽しくやって行くつもりです。

香川小学校の思い出

亀井精一

明治よりの分教場から二代目として開校したのが、昭和三年の秋である。金子薬局の北の高台に建設され、昭和四年四月一日、一年生として入学した私たち大正十一年生だが、第一期生だった。
当時は、入学式ほか祝祭日には、ほとんど和服羽織袴で式典に出席した。

私のクラスは男五人、女八人、三年までの生徒数が四十名位と少ない。教室が一つで三列に机が並び、各学年が一同で勉強するのだから、おもしろい。先生もたいへんだったと思う。

教わる以外は自習なのが、自習しながら他の学年の分も見ていたので、向学心を燃やすには、良かったかもしれない。
一年生の担任は中村先生。この先生の転任については、日本軍が軍事色濃厚となった時代で、いろいろあったらしい。

二年生から島田先生。教育熱心な上に、親子の情愛をもたせるようなどころがあった。運動場の東



仮装「忠臣蔵」

側に小さい畑があって、大根を作って、腹痛の生徒があると、輪切りにして食べさせられた。
もっとも先生も胃が弱く、分教場在職五年位で、胃潰瘍で亡くなられた。

冬期三か月位は、弁当のある日は、大火鉢に炭をおこして金網の棚で、あたためてもらう。アルミの弁当箱がヤケドするほど熱くなり、溶けだすようなオカズをつつきながら、ご飯を食べたことなど懐かしい。
玄関の右側にあったサルスベリは、現在、香川小学校に植えられている。三代の学校に仕えたこの木は、由緒あるものである。
当時細かった銀杏も大木となり、香川小学校の空にそびえている。その当時の香川は、戸数八十戸くらい。ほとんどが農家で田畑、山林と入りまじった村落だった。

高台にあった分校からは、西には稲穂の波の上に、裾野まで見えるような富士山、北は赤羽山。農家も立ち木が多く、一戸、数戸が森になり、写生などの材料には、ことかかなかった。

開校当時、分校の周りは芝土手で、植えられた松の苗木が生け垣として育ち、かくれんぼなどのイタズラ坊主の顔などつづいたものだ。
松といえば、香川小学校の開校当時、PTA役員などで、私の山林から運んで植えられた数十本の松が、正門の近くに、りっぱな庭木として成育しているのを見て、子供から孫へと時代は変わっても語り継ぐ生きた教材と考えている。

分校は香川だけのものと考えたためか、戦後PTAの発足とともに、私の子供が分校に入る頃は、非常にまとまりがよかった。

現在の体育振興会の体育大会の前身ともいえる部落運動会が、毎

年子供と一緒に行われた。
町内対抗の仮装行列など、今になれば腹を抱えて笑いがとまらない。(仮装写真の撮影者は私。写真提供は柳川治郎さん。)

体育委員会の活動を ふりかえって

体育委員長 葛西可朗

二月十一日のボーリング大会は朝早くから九十名の参加のもと盛大に開催されました。家族参加が目立ち、親子で楽しいひとときがもてたのではないのでしょうか。
今回は自治会館までご足労いただき参加者名簿に記入していただきましたことお詫び申し上げます。
さて、今年度の体育委員会の活動を振り返ってみたいと思います。「地域に密着し、幅広い年齢層を対象にした活動」ということで体育委員会は暗中模索の中で活動してまいりました。お陰様でどの活動にも大勢の自治会の皆様のご協力を得ることができました。当初の目的を達成できたことに対して体育委員会一同喜びにたえません。

しかし、大勢の皆様に参加していただくことが目的でありながら、ボーリング大会のような催しはどのような参加者を限定しなければなりません。又、参加費を徴収しなければならぬ活動もあり、会員の皆様の中には、少々お金がかかってよいから、内容充実という声もきかれました。

来年度は今年度の活動を基軸に自治会の皆様の要望にこたえられる活動に充実発展させていきたいと考えております。これからも香川自治会体育委員会の活動にご理解をいただき、ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

電話の 1-2組 天野雅裕氏
訂正 電話(五七)七七八一

阪神大震災に思う

第二町内会副会長 勝 又 嘉久

一月十七日未明に起った、兵庫
県南部地震は、死者行方不明者五
三九〇余名の他、多数の方が負傷、
又損壊家屋も一〇万棟を越える被
害をもたらしました。地震発生後
二ヶ月を経過した今日も、茅ヶ崎
市の人口以上、二十二万人の方々
が避難生活を余儀なくされてお
ります。これだけ大きな被害にな
った要因には、地震そのものが、予
想を遙かに越えた大きいものであ
った事に他に「関西には地震がな
い」という一般風潮により災害
に対する備えが不足していた事が
あげられております。我々が住ん
でいる関東圏には、歴史上過去七
十年に一度、大きな地震が、起っ
ております。関東大震災から七十
二年を経過した今日、今回の阪神
大震災は我々香川に住んでいる人
間にとって、他人事ではない気が
いたします。私は現在損害保険会
社に勤務しており、今回の地震に
ついては、人一倍関心を持つこと
に、考えさせられるところが大
あります。

香川の町に住み二十五年、毎年
防災訓練が実施されておりますが、
我々役員の情宣活動の不足もあり
参加者は少々寂しい限りです。も
し阪神大震災クラスの地震がこの
地域に来ようものなら、パニック
になる事はまちがいないものと思
われます。今回の地震を教訓とし、
地域住民全員が防災に関心をもち、
みんなで考えていく機会を数多く
作っていく事が、必要であると思
います。阪神大震災で避難されて

第一町内会

いる方々
が、テレ
ビのイン
タビユー
で、「避難生活をする事により、
日頃近所付き合いが殆んどなかつ
た方と親しくなれた」と話しをさ
れておりました。確かに昔と違い
現在は、核家族が進み、近所付
き合いが乏しくなってきた事
は事実であります。せめて我々
の住んでいる香川の街では、みん
なが集える明るい街でありたいと
考えます。個人の力には限りがあ
りますが、集団の力は測り知れな
い魅力を持っているのです。
すばらしい街香川の為に、役員
の一人として、今後も努力を惜し
まず頑張っていく所存でありま
す。

阪神大震災の 生と死

香澤幸子

平成七年、新年を迎えてまもなく
一月十七日早朝に発生した阪神
大震災は、火を消す間もなくあつ
という間に死者が百人千人と増え
続け、とうとう五千人以上にもな
り大混乱の状態に陥った。「助け
て!!」「熱いよ!!」「苦しいよ
う!!」と泣き叫んだことでしょう。
親戚や知人の方々も速く離れて不
安な気持ちでテレビを見ていたこ
とでしょう。交通もストップ、電
話も通じない、一刻も早く助け出
さなくてはと消防隊も救急車も出
動して必死だったでしょうけど、
どうすることも出来ず大惨事にな
ってしまったことが残念でたまり
ません。
政府はなぜすぐに自衛隊を出動
するよう指令出来なかったのです
でしょうか。家屋の下敷になっ

人を少しでも多く救出していれば、
死亡者人数も減っていたかもしれ
ません。二週間位前、NHKで阪
神震災のチャリティー歌謡コンサ
ートを見て、最後に和田アキ子さ
んが歌う「あの鐘を鳴らすのはあ
なた」を皆で合唱してましたけ
ど、それを聞いていた私は、町が
ボウボウ燃えて苦しい思いで亡く
なった人のことを考えると、涙が
止まりませんでした。
又、家の下敷になって三十時間
ぶりで救出された御老人の方も目
をうすく開けて「あ、生きてた
!!」と思うと「良かった!!良かった!!」
と、又涙が止まりませんでした。
この震災の生と死、運、不運が
あるのでしょうか。生きられた方
は亡くなられた方の分まで、希望
と明るさを持って、頑張っ

第四町内会

子ども会に感謝状

香川東子ども会では十数年前か
ら廃品回収を行なっています。最
初はその収益を活動費の一助とす
る目的だったのでありますが最近ではリ
サイクル運動に協力するという事
で大いに評価されています。
このたびその努力が市から認め
られ感謝状が贈られました。

感謝状

香川東子ども会殿

貴会は茅ヶ崎市を住みよいまちに
するため永年にわたりごみの減量
資源化並びに環境をよくするこ
とに皆さんで力を合わせて実践さ
れました功績はまことに顕著なも
のであります。
よってここに感謝の意を表します。
平成七年二月三日
茅ヶ崎市長 根本康明

人間訪問

（前号より続く）

小川治作さん

待ちに待った資格を手に入れた
小川さんは、その後も厚木市七沢
にある神奈川県自然保護センター
の主催する自然観察の講習も何度
か受講されて、自然と人間とのあ
り方を勉強されています。
小川さんは新潟県出身の方でお
兄さんの仕事の縁で香川に住む事
になったそうです。落語家の林家
こん平師匠とは同郷の二つ年下の
幼なじみで、よく相撲を取ったり
川で泳いだりした仲間だったそう
です。師匠が笑点の幕開けの挨拶
で喚く「ちゃーざー村」の謎が解
けました。「ちゃーざー村」とい

東子ども会代表の中津川さんは
「地域の皆様のご協力に感謝して
います。今後もよろしく御願いま
す」と言っておられました。
東子ども会は現在37世帯58人の
組織だそうです。子どもの数が減
っているとはいえないいろいろな事情
で加入していない家庭も多いと聞
いています。近ごろ問題になって
いる「いじめ」の原因の一つに子
どもの孤立化があるのではないで
しょうか。もっと地域の子どもの
輪を広げ、それにつながる親の輪
を広げていけばいじめも減少する
のでは？

あると思います。自分の身のまわ
りの自然にもう一度目を向けまし
よう。そして全身と五感を使って
自然と接触し自然と仲良くなって
みませんか。そうすることによつ
て自然と人との関わりにも向く
でしょう。人と自然の関わりが分
かって、フィールドマナーが守られ
れば自然が保護される事につなが
っていきます。細かい花の名や、
穂等知る知識よりもっと大きな眼
で見て、自然の仕組みを知る事が
大切であると思います。高度な知
識を持った一握りの専門家よりも、
自然保護を理解する多くの人が、
いろいろな分野で活躍している方
が望ましいのです。
私は先般、財団法人日本自然保護
協会講習を受講し自然保護観察指
導員の登録を済ませたばかりです
が、ミニ観察会をやった見たい同
好の方がいらっしやれば一緒に
と、思っています。
連絡先
香川 1517
電話 5211200
財団法人日本自然保護協会
自然観察指導員 小川治作
土を握って陶器を焼き、酒を愛
し、自然を愛する小川宅の庭先に
は丹精の阜月（さつき）がじっと
冬を耐えていました。
何でストライクが
とれないの
2月11日、体育委員会主催のボ
ウリング大会が高座郡寒川町セン
トラルボウルで行なわれました。
参加人数 大人68名 小人19名
男子 一位・綿引和男、二位・原
田信作、三位・堀籠茂行
女子 一位・原田美弥子、二位・
斎藤静子、三位・中井あや
子供 一位・近藤 博、二位・永
田拓也、三位・三好孝弘

公民館は何をする所だろうか？

香川公民館館長 小 西 昇

社会教育法では、公民館の目的として、「市町村その他一定区域内の住民のために、実生活に即した教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すること」と規定されております。

その目的を達成するために、次のような業務を行っています。

①主催事業(学習機会の提供)
各種講座、教室、つどいなどの主催事業を企画しています。地域づくりの核となる課題や、子育てなどの日常生活に関する様々な課題・人権・平和・環境問題などの現代的課題を取りあげています。

また、趣味・教養的分野をも盛り込み、仲間づくりや、うるおいのある生活づくりを目指しています。

②施設の貸出し(学習の場の提供)
グループ、サークルへの貸館業

③相談業務(学習情報等の提供)
社会教育活動に関する相談、援助、助言などを行っています。

施設主催の講座案内などの情報を提供するとともに、学習方法などの相談も受けています。また公民館では、多くのサークルが活動していますが、その活動の援助や助言、新しくサークル化を目ざす方々へのお手伝いもいたします。

* 公民館では、来館者を「お客」ではなく、「利用者」と呼んでいます。それは、公民館が自主運営の場だからです。使い勝手の良い公民館とは、利用者自身が自

俳句 平塚司郎選

長島 久江

啓蟄や隣へつづくもぐら塚

なつて土の中の虫が動き出す日
と言われているが、そんな時分
になると土籠の動きも活発にな
って強力な前脚で土をもち上げ
てトンネルを作る、それが隣家
の垣根に及んだのであろう。天
地が動き出した証でしょう。

空缶に銭入れて買ふ露の臺

春の雪石に吸はれてしまひけり
降ってもはっと消えてしまふ
春の雪、積ることもなく消えて

務を行っています。これは主に学習の場を提供するということで、皆さんには一番身近なものだと思いますが、研修・学習活動・グループ・サークル活動はもちろんのこと、各集会活動などにも、無料で利用できます。

利用方法など詳しいことは、公民館へおたずね下さい。

③相談業務(学習情報等の提供)
社会教育活動に関する相談、援助、助言などを行っています。

施設主催の講座案内などの情報を提供するとともに、学習方法などの相談も受けています。また公民館では、多くのサークルが活動していますが、その活動の援助や助言、新しくサークル化を目ざす方々へのお手伝いもいたします。

* 公民館では、来館者を「お客」ではなく、「利用者」と呼んでいます。それは、公民館が自主運営の場だからです。使い勝手の良い公民館とは、利用者自身が自

猫のしあわせ

瀧美隆次

昨年の六月の或朝。二匹の野良猫が、生まれて間もない子猫を連れて、わが家の庭へやってきた。

子猫は合計八匹。驚いたが、そのしぐさが実にかわいらしく、思わず見とれてしまった。

だが、わが家でこんなにたくさん育てる自信はない。だからと言って追い払うわけにもいかない。

近所の迷惑にもなる。早速、あちこちに「子猫を育ててくれませんか」と写真をつけて、貼紙をだした。まもなく、小学生の女の子が友だちと二人でやってきた。家族

止んでしまった。春の雪のはかなさをたたえており、石に吸われてしまったと言う把握がすぐれている。

二人あて心二つや春炬燵
急いでみて花三極に立ち止まる
特別な枝わかれの先に房のよ
うな奇妙な花をつける三極、誰
でも立ちどまって見とどけたい
ような花だ。作者も急いでいる
用事があったが、三極の奇妙な
花に惹かれて、ふと立ち止まっ
たのだろう。

小机に飾り老の雛祭り
片頬を海の風過ぐ辛夷の芽
辛夷の芽はきっぱりと穂先の

的的に運営し、学習できる場であると考えています。ここで勘違いされては困るのですが、自主的にということとは、身勝手にということではありません。

自分たちの学習の場をより良くし、大切にしていこうという気持ちに他なりません。そのためにも、公民館を正しく理解していくことが、望まれます。

の許可を得ていると言って、一匹を連れていった。しかし、後でわかったことだが、家族の反対にあい、困って捨ててしまったらしい。今でも、残念で心残りだ。

保健所へも相談に行った。だが保健所では、引取った猫のほとんどを安楽死させるとのこと。そして、菱沼海岸にある動物福祉協会を教えてくれた。行って見ると、Oさんの宅地に小屋が建てられ、その中に五匹ぐらゐの捨て犬や捨て猫が保護されていた。その世話をしていた人から、苦労話をいろいろと聞かされた。市役所の環境保全課へも相談に行った。しかし、市でも困っていて、その解決策は見つからなかった。そして、応待に出た人に「野良猫には、えさをやらない方がよい」と忠告された。生きるためには、食べなければならぬ。ふと、少年時代の戦争中の生活を思い出した。

新聞の投書欄で、次のような記事を見た。「野良猫イコール捨て猫にえさを与えるべきではない」という考えは、基本的に間違っている。どうして共に生きる仲間として見ることができないのだろうか。動物愛護という動物好きな人と思われがちだが、必ずしもそうではなく、動物の命も人間と同じくかけがえのないものと思っているのだ。私もそう思う。小動物を飼う動機にはいろいろある。私のように、動物好きでなくても、かわいそうだと思ひ、つい、えさをやっってしまう、飼うことになる人も多いと思う。

学校では、子どもたちに、「人や自然とのふれあい」などと言って動物に対するやさしい心を育てようと努力している。だが、現実にはちがう。学校と家庭と地域社会とでは、歯車がかみあっていない。

数日して、運よくもう一匹の飼いが決まった。その猫は、今、とてもかわいがられ、元気に育っている。残った六匹の子猫のうち、二匹は家の近くで、自動車にはねられ死亡。近くの動物愛護の会で火葬にしていた。

今、わが家にいる子猫は合計四匹。だいぶ成長したので、近くの動物病院へ避妊手術に通った。一匹の健康な猫でも、避妊のためには、最低五回は病院を訪れた。人間の場合は、自分の意志で子供を生むか生まないかを決めることが出来る。が、猫にはそれが出来ない。猫とは言え、病院へ連れて行き、避妊手術をするのは、人間の勝手な考え方のように思えてならない。しかし、現実問題として不幸な野良猫をふやさないためには手術しなければならない。手術の為に、かごに入れて病院へ連れていくと、猫はふるえていた。痛々しくて、どうしても後味の悪さが残った。これでいいのだろうか？

日頃より地域の皆様方には、子ども会活動に深い御理解・御協力を頂き有難うございます。自治会から補助金も頂き子ども会活動に活用しています。香川7子ども会(原東・原西・間門・間門西・中通り・北・東)ではより充実した活動を目指して、多くの子ども会員を募集しています。

平成六年度は、町内会掲示板に貼ってあるように、環境整備委員会主催のポスター展や駅前清掃、諏訪神社子ども神輿、地区体育大会、香川小学校区子ども会連絡協議会(香子連)主催のドッジボール大会、子ども祭りに参加しました。また各子ども会でも、廃品回

子ども会に入って 友達の輪を広げよう

香川7子ども会

収・歓送迎会・遠足・デイキャンプ・餅つき大会・ボーリング大会・工場見学・その他いろいろの趣向を凝らした行事を行いました。一年生から六年生まで、学年の区別なく、高学年は低学年の世話をし、低学年は上級生のいうことをよく聞き、皆が一つになって楽しい活動をしており、子ども同志の情報交換の場にもなっています。

これからも地域の人達とのふれあいを大切に、子ども達による子ども達のための子ども会作りをしていきたいと思ひます。

入会希望の小学生、詳細を知りたい方は各子ども会の指導員までご連絡下さい。入会は随時受付ています。たくさんのお友達の入会をお待ちしております。

計報

(平成7年3月8日現在)

深水タツエ様	81才	1月10日
第1町内会	31組	
大嶽藤一郎様	86才	1月12日
第2町内会	38組	
生田 廣志様	48才	1月13日
第3町内会	31-5組	
西山 治男様	86才	1月22日
第1町内会	8組	
鈴木 テル様	75才	1月27日
第2町内会	10組	
北川 寿春様	56才	1月28日
第2町内会	22組	
小沼 辰雄様	54才	2月4日
第4町内会	10組	
石川 明様	58才	2月11日
第4町内会	38-4組	
坪田 チカ様	82才	2月15日
第4町内会	41組	
和田龍太郎様	7ヶ月	2月23日
第2町内会	34-4組	
福 松雄様	64才	3月2日
第1町内会	14組	
熊沢 丹司様	85才	3月8日
第3町内会	6組	